

エコライフ・エコエリアで移住の受け皿を！

屋久島移住シンポジウム

10月25日(土)開催

日時：10月25日(土) 午後1時～5時
12:30 受付開始

会場：屋久島町安房総合センター
2階大ホール

内容：

第1部 地域づくり事例報告 13:00～14:15

移住者を受け入れて地域づくりを行なう
各地区の取り組みを紹介

発表：海を活かして島おこし(湯向)、復活した伝統の「岳参り」(永田)、観光資源を掘り起こして村おこし(吉田)、情緒あふれる街並を保存・再生(安房)、農業振興で村づくり(麦生)、移住コンサルジュの試み(原・尾之間)、移住者との共生(小島)、遊休地を活用(平内)、地域通貨「屋久の水」の取組み、移住の現状アンケート結果ほか ()内は地区名

第2部 パネルディスカッション 14:30～15:45 (質疑応答の時間もあります)

エコエリア、エコライフによる移住の受け皿づくり(=屋久島モデル)を、移住者と共に考える

出演：柴鉄生(永田)、氏川恵次(横浜国立大学)
岩山鶴美(安房)、日高輝久(麦生)、菊池淑廣
(船行)、屋久島町 (順不同、敬称略)

第3部 エンディング・ライブ 16:00～17:00

島の伝統、地元芸能と移住者の新風が融合

出演：踊り「屋久島エレジー」(安房)、尺八・
久保田義則(麦生)、三線で童謡とナツメロ・
輪島武子(高平) (順不同、敬称略)

参加費：無料

主催：特定非営利活動法人屋久島移住ネットワーク・緑の風

後援：鹿児島県、屋久島町、屋久島町区長連絡協議会、屋久島観光協会、屋久島町商工会、種子屋久農業協同組合、
屋久島漁業協同組合、屋久島森林組合、鹿児島県建設業協会屋久島支部、屋久島町文化協会、屋久島環境文化財団、
南日本新聞社、ふるさと回帰支援センター

お問合せ・お申込み先：屋久島シンポジウム実行委員会 TEL 080-5485-1440 (杉浦まで)

NPO緑の風は、シンポジウムや移住者アンケート、交流体験ツアー(来年1月)等をお手伝いいただけるボランティアスタッフを募集しております。一緒に地域づくりを行なっていただける方、歓迎。島外の方でも大丈夫です。



特定非営利活動法人屋久島移住ネットワーク・緑の風

〒891-4403 鹿児島県熊毛郡屋久島町原914番地 電話 0997-47-3335 FAX 0997-47-2739

メールアドレス midorinokaze@iju.jp ホームページアドレス <http://midorinokaze.iju.jp/>

NPO緑の風がこれから行なう活動です。

東京でのシンポジウム開催

今回の屋久島でのシンポジウムを受けて、移住の受け皿となる「屋久島モデル」を都市部で問いかける内容です。移住者受け入れを地域活性化と環境保全につなげ、離島の地域づくりの事例として他への波及効果を期待します。

移住アンケートの実施

移住者の増加で人口が回復した屋久島の移住の現状を知り、今後の方向性を探るため行ないます。二度のアンケート調査の結果は2月作成の報告書にまとめる予定です。本事業にご協力いただく各区・各団体・各個人様へ、報告書を配布いたします。

地域コンサルジュの育成

コンサルジュは、よろず相談係や世話焼きという意味です。移住希望者の窓口や相談相手として地域の受け皿となるコンサルジュの人材体制の整備を、地元の方々と相談しながら進めていきます。

滞在型交流体験ツアーの実施

「西部林道ごみゼロウォーク」など環境学習、農業体験、生活体験、町営団地や島内不動産各社の物件見学などで屋久島に短期滞在します。希望地区で地域づくりへの参加や、移住相談を行ないます。

2009年1月17日～20日開催予定。
(ツアーの詳細は、NPO緑の風事務局へお尋ねください)



以上が県の助成事業で行なうあらましです。次は、NPO緑の風が独自に行なう活動です。

移住体験ツアーの通年フリープラン、移住相談会

半自給自足の田舎暮らしや2地域居住を考える方に、お試し暮らしツアーをご用意。豊かな自然の中で子育てや起業を望む方歓迎です。期間は一年中いつでもOK。ご希望に応じてツアープラン作り。移住相談も行ないます。

「まんてん・平家の里」交流体験ツアー

2008年11月1日～3日。吉田区主催、NPO緑の風共催。NHK連続テレビ小説を記念した吉田まんてん祭り(2日)に参加し、「浜でばい」とさば節工場見学(3日)を行ないます。平家の落武者が屋久島で最初にたどり着いたという歴史ある吉田地区に民泊し、海・山の恵みを味わい、ゆったりした時間を過ごしていただきます。

そのほかNPO緑の風は東京で、かごしま遊楽館ワークショップやかごしま移住セミナーの活動に参加しています。以上お問い合わせは、NPO緑の風事務局(担当:杉浦 電話:080-5485-1440)までお願いします。

NPO緑の風よりお願い

団塊世代の地方回帰が進み、全国の自治体は移住者獲得に知恵を競っています。我が屋久島町においても、世界自然遺産の登録地として屋久島らしい移住者受け入れについて考えるときが訪れているような気がします。少子高齢化社会に向かういま、島全体で連携して移住者を受け入れ、地域づくりを行なっていく必要があるのではないのでしょうか。各地区の特色を生かした村おこしや、問題が表れてきた西部地区の過疎化・限界集落化などへの対策を、地元と移住者が協力して実現できればと願っております。

現在私どもは、鹿児島県の「かごしま・くらし」を進める活動支援事業の助成金交付を受け、屋久島町のご協力を賜り、『屋久島移住・交流の受け皿モデルづくり事業』を実施中です。2年目の今年は、昨年度の成果(3回の移住セミナーと体験ツアーを通じて定住者6家族を実現)を継続・発展させて、屋久島と東京でのシンポジウム開催、移住アンケート実施、滞在型交流体験ツアー実施の三つの活動を行なう予定であります。私どもは、太古からの自然と多様な生命と人が共生する屋久島を守り、多様な文化を育み、持続可能な地域経済の発展をめざし、未来の子供たちに受け継ぐ島の地域づくりに今後も励んでまいります。

本事業へのご支援・ご協力を、皆様へ切にお願い申し上げます。

特定非営利活動法人屋久島移住ネットワーク・緑の風 理事長 富永英男

東京シンポジウム 概要

日時: 11月22日(土) 午後1時～5時

会場: 日本工業大学ホール(千代田区神田神保町)

出演: 柴鉄生氏、星野智子氏(環境パートナーシップ会議)、ほか島内外の方々を予定